

氏名	田岡 紀美子/ TAOKA Kimiko
所属・職名	松本短期大学 幼児保育学科 講師
research map	<a href="https://researchmap.jp/k_-taoka">https://researchmap.jp/k_-taoka</a>
連絡先	k.taoka(a)matsutan.ac.jp
担当科目	社会福祉、社会的養護Ⅰ、社会的養護Ⅱ、子ども家庭福祉、子育て支援、保育実習指導Ⅰ(施設)、保育実習指導Ⅲ、基礎ゼミナール、応用ゼミナール、保育実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、幼稚園実習
学歴	花園大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻 修了 大阪府立大学人間社会システム科学研究科人間社会学専攻社会福祉学分野博士後期課程 在学中
学位	修士(社会福祉学)
主な経歴	神戸介護福祉専門学校、帝塚山大学実習指導室、大阪総合福祉専門学校、奈良保育学院、白梅学園短期大学、滋賀文教短期大学などを経て現職。
研究分野	ソーシャルワーク、倫理的ジレンマ
所属学会	日本社会福祉学会、日本保育ソーシャルワーク学会、関西教育学会、日本教育実践学会
主な研究業績	
著書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設実習ガイドブック：実践的スキルを身につける、共著、みらい、2025</li> <li>2 現代社会福祉要説、共著、ふくろう出版、2021年</li> <li>3 NIE家庭支援論演習、共著、大学教育出版、2018年</li> <li>4 イチからはじめる道徳教育、共著、ナカニシヤ出版、2017年</li> </ol>
学術論文	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 実習が保育者効力感に及ぼす影響：短期大学生の語りから、共著、松本看護大学研究紀要(1)、2025年、19-30</li> <li>2 倫理的意思決定の包括モデルの活用について～障がい者に対する意思決定支援の事例を用いた検討～、単著、滋賀文教短期大学紀要(25)、2023年</li> <li>3 保育者養成における事例を活用した当事者理解の効果と課題 アンケート調査と事例検討内容の分析、共著、滋賀文教短期大学紀要(24)、2022年</li> <li>4 短期大学を拠点とした学生主体の子育て支援活動の意義：ぶんぶんひろばでのサービ斯拉ーニングに着目して、単著、滋賀文教短期大学紀要(24)、2022年</li> <li>5 保育者養成課程におけるケースメソッドを活用した授業についての検討、単著、滋賀文教短期大学紀要(23)、2021年</li> <li>6 高齢者施設で働く介護職員の専門職としての意識について、共著、草の根福祉(48)、2018年</li> <li>7 倫理教育の実態調査－自由記述回答の内容分析から考えられる課題－、共著、介護福祉教育27、2009年</li> <li>8 介護福祉士養成校における倫理教育の実態調査、共著、介護福祉教育24、2007年</li> </ol>
学会発表等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 意思決定支援と意思決定支援者の倫理的ジレンマ、日本社会福祉学会中部地区ブロック部会 2024年度春の研究例会</li> <li>2 保育士養成における事例を活用した当事者理解の効果と課題－ロールプレイによる疑似体験を通して－(共同) 令和3年度全国保育士養成セミナーブロック研究助成報告</li> <li>3 対人援助職の専門職としての意識について－介護職員の自己評価に着目して－、日本人間関係学会 関西・東海地区大会(京都ノートルダム女子大学)、2019年12月14日</li> <li>4 保育者養成における映像教材活用と児童福祉問題に関する気づきの構造について、日本教育実践学会「研究体会論文集21」、2018年12月1日、138-139</li> </ol>